

23年9月「大津市議会定例会」の報告



私にとって2回目となる大津市議会定例会が去る9月26日に閉会しました。今議会では緊急性が高いとされる予算案(補正予算)が審議しました。また、湖西・蓬萊駅以北駅へのエレベータ設置の請願(みんなの党大津は設置賛成)、堅田駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算も審議しました。

その他、報道された通り、大津市長の公用車の使い方についての問題も生じました。一般質問には最多の27名が登壇、私も計6項目質問いたしました。今後は10月に決算特別委員会が開催され、平成22年度決算の審議を行い、年末には12月定例会(12月1日開会予定)が開催されます。

なにとぞ引き続き、皆さまのご指導とご意見を頂戴できますと幸いです。

みんなの党大津 藤井哲也

「みんなの党 藤井哲也 議員の市政一般質問と答弁(要旨)」

1. 堅田駅西口開発地域における河川氾濫対策について

質問

本年10月からいよいよ堅田駅西口のいわゆる「大津 堅田 山の手」の宅地分譲が開始されます。交通アクセス、生活環境に優れた好物件です。その宅地分譲予定地の近くを流れる一級河川、真野川。台風や豪雨のたびに増水し、河川氾濫のリスクが生じています。大津市はこのタイミングで、20年以上停滞している真野川河川改修事業について、所管している滋賀県に対して再度、強くその重要性について要望すべきと思うがいかがでしょうか？



9月4日10時藤井議員撮影 真野川、荒木橋周辺

答弁

宅地開発している近くを流れる真野川の治水の重要性を認識しています。滋賀県への対応についてはかねてより要望をしており、現在、県において河川計画をつくっているところであり、段階的に進めていくとされている。本市としては、速やかにこの計画が進められるように県に要望をしている。しかしながら、**議員指摘の通り、市街化が進む今後は、平成4年より周辺の河川改修を協議している“真野川改修促進協議会”とも連携を取りながら、より取り組んでいきたい。**

2. 審議会等の委員公募に関する広報充実と選考の透明性について

質問

現在、さまざまな市民の公募委員を交えた審議会や委員会がありますが、たまたま市のホームページを見るか、自治会加入者しか手元に届かない広報誌でしか、その公募情報を知ることができません。私の周りには公募していることを知らない人がたくさんいます。たとえば、ツイッターやフェイスブックといった無料の拡散性が高い新しいツールを使っている他都市の事例もあるので導入に向けて検討してはどうでしょうか？

また、公募委員の選考が不透明です。選考プロセスをもっとオープンに公開してはどうでしょうか。

答弁

ツイッターやフェイスブックの導入については今後、全庁的に導入を検討したいと考えています。

また、公募委員の透明性については、選考プロセスを公開することについては様々な問題があるので、適切に対応したいと考えています。



3. 大津市の若年者雇用対策について

質問

8月30日に開催された市主催の学生就職面接会は一定評価します。しかしながら、若者の雇用はこの10年間ずっと低迷してきています。これは構造的な問題であるため、一朝一夕に改善するものではありません。つまり5年、10年とこのような状況は続いていくことも考えられます。については大津市としては、雇用のミスマッチ解消事業も行うのはいいが、民間でできることは民間に任せて、本市の産業活性化やイノベティブな新産業(ベンチャー)の創出や支援をもっと本格化していくべきと思いますが、いかがでしょうか？

答弁

現在大津市では、経営者向けのマネジメントスクール事業や自社の魅力を発信する就職イベントを行っています。また、産学連携に取り組みたい企業への支援を行うために企業の実情に合わせた産業化支援コーディネータ事業を行っています。併せて、大津市周辺には大学や公的機関が設置するインキュベーション施設が多くあり連携を深めていくとともに、将来大津市に本拠を構える予定のベンチャー企業に対して助成金を支出しています。今後も活動を進めていきます。

4. 大津市職員の人事制度について

質問

本市の「新・大津市行政改革プラン」に掲げる新人事制度を再構築していくと5月議会で総務部長が述べられましたが、平成24年度中に評価結果を給与や昇進などの処遇に反映させるとする本プランは実現不可能なのではないでしょうか？
また、もし再度見直すならば職員だけで人事制度を決めるのではなく、民間の第三者を交えた検討委員会を立ち上げてはどうでしょうか？

答弁

現状、行政改革プランに掲げている新人事制度の進捗は足踏みが続いています。平成24年度中に新人事制度に移行するのは困難です。(評価者の視点のばらつきが生じているなどが理由)
また、新人事制度構築については民間の視点を取り入れることはもっともと考えるが、基本的には市の管理事項であり、外部の第三者を交えた検討委員会の設置する考えはありません。

5. 被災地の一般廃棄物や放射性物質に汚染された廃棄物の受け入れについて

質問

現在のところ政府からは大津市に対して被災地の廃棄物の受け入れについて問い合わせはありましたでしょうか？
また、放射性物質に汚染された恐れのある廃棄物が万一勝手に民間業者によって運び込まれた疑念が生じたときは、どのような対応をとりますでしょうか？

答弁

これまでのところ政府から大津市に対して被災地の廃棄物受け入れの打診はありません。また万一、民間業者によって勝手に放射性物質に汚染された恐れのある廃棄物が運び込まれることは基本的にないと考えるが、生じた場合は法に従い、適切に対処したいと考えている。

※その他、来年1月に迫ってきている市長選挙に向けて若者世代の投票率を高めるための啓発についてどのように取り組んでいるかを質問し、「学生インターンシップにも来てもらい、データを分析しているところ。いかしていく」という答弁がありました。

【藤井哲也氏 プロフィール】

- 昭和53年(1978年)滋賀県大津市で生まれる。(現在33歳)
 - 膳所の聖母幼稚園卒園、市立平野小学校入学。
 - 小6のときに転校、市立真野小学校卒業、真野中学校卒業。
 - 県立東大津高等学校卒業。
 - 平成13年(2001年)立命館大学法学部卒業。
 - 人材派遣、社会人教育、介護のヒューマングループに入社。(営業職)
 - 平成15年(2003年)若者の就職支援会社(株)パシオを起業、代表就任。
 - 平成23年(2011年)大津市議会議員に初当選。みんなの党大津代表に就任。
- 大津市議会では現在、「施設常任委員会」、「地球温暖化対策特別委員会」に所属



■ 「みんなの党大津」事務所

大津市御陵町3-1 大津市役所本館3F
(大津市議会 みんなの党大津 議員控室)

■ 真野事務所(藤井哲也事務所)

大津市真野1丁目13-7-205

<http://www.fujitetsuya.jp>

FAX 050-3488-7717

メール tetsuya@fujitetsuya.jp

ツイッター @fujii_tetsuya

※ブログを週1、2回書いております。